

■ 学校の共通目標

|             |                |                                      |                            |  |                            |  |
|-------------|----------------|--------------------------------------|----------------------------|--|----------------------------|--|
| <b>授業作り</b> | <b>重<br/>点</b> | ・児童に付けたい力を明確にし、学び合う楽しさを味わわせる授業作りを行う。 | <b>中<br/>間<br/>評<br/>価</b> |  | <b>最<br/>終<br/>評<br/>価</b> |  |
| <b>環境作り</b> |                | ・1人1人の良さが発揮でき、所属感を高める集団を育成する。        |                            |  |                            |  |

■ 学年の取組内容

| 学年 | 教科 | 学習状況の分析 (10月)  | 課題 (10月)   | 改善のための取組 (10月)   | 最終評価 (2月)         |           |
|----|----|--|--|--|-------------------|-----------|
| 1  | 国語 |  |  |  |                   |           |
|    | 算数 |  |  |  |                   |           |
| 学年 | 教科 | 学習状況の分析 (4月)   | 課題 (4月)  | 改善のための取組 (4月)  | 中間評価・追加する取組 (10月) | 最終評価 (2月) |
| 2  | 国語 | <p>学 漢字を覚えるための練習方法が定着して自分なりに練習する方法を身に付けていた。</p> <p>学 ノートを丁寧に書き写すことや自分の考えを毎時間振り返りに書くことが習慣化し、自分の考えを丁寧に書くことができるようになった児童が90パーセントいた。</p> <p>学 文章に書くときに出来事を丁寧にかける児童が80パーセントいるが残りの20パーセントへの個別の指導が必要である。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の練習の仕方を引き続き指導する必要がある。</li> <li>学習の振り返りでは本時の学習を自分の言葉でまとめることができるようになるための指導が必要である。</li> <li>書くことについては個人差が大きいため、個別の対応が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ノート等のマスをICT機器を用いてホワイトボードに映し出し、全体に見える形でノート指導をする。</li> <li>短い文を繰り返し書く練習をする。また、書いた文章を読み返して確認する習慣を付けさせ、定着を図る。</li> <li>話の聞き方のルールを徹底して、話の聞き方を身に付けさせる。</li> </ul> |                   |           |
|    | 算数 | <p>学 どの児童も足し算、引き算の基礎的な計算問題の正答をすることができる。</p> <p>学 時間の読み取りは全員出来る。</p> <p>学 文章題を読んで理解することが難しい児童が2割いる。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>計算の速さを求めるための手立てが必要である。</li> <li>時間の読み取りについては日常的に練習して確実にし、時刻と時間につなげていく。</li> <li>文章題の読み取りに課題のある児童に対する個別の支援が必要である。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>足し算、引き算の課題やデジタルドリルに繰り返し取り組み、計算力の向上を図る。</li> <li>具体物の操作をして問題解決に取り組む時間を設け、自分の考えをまとめる習慣を付ける。</li> </ul>  |                   |           |
| 3  | 国語 | <p>学 話し手の知らせたいことに関心をもって聞くことができる。</p> <p>調 物語や説明文を読み取る力が高い。</p> <p>調 主体的に学習に取り組む態度が、目標値を下回っている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の話を受けて話をつなげていく、「話す力」を伸ばすことが課題である。</li> <li>話し合い活動や振り返り活動を充実させ、より児童が主体的に学習をしていけるようにすることが課題である。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>日記など、日常的に文章を書く活動を多く取り入れ、様子や気持ちが伝わるように言葉を選んで書くことを意識させる。</li> <li>読書を奨励し、読書を楽しむ中で様々な表現に触れられるようにする。</li> <li>漢字の小テストを反復して行い、既習漢字の習得を確実にする。</li> </ul>          |                   |           |
|    | 算数 | <p>調 「量と測定」領域の「長さ・かさ」、「時刻と時間」においては目標値を上回った。「数と計算」領域のかけ算では、目標値を下回っているものもある。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>かけ算を確実に定着させ、正しく活用できるようにすることが課題である。</li> <li>自分の考えを図や式、文章で表現していくことに慣れることが課題である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>2学年までの内容の定着を図るため、授業はじめての5分間計算を行う。</li> <li>デジタルドリルを活用し、基礎的な計算や九九の練習に繰り返し取り組み、定着を図る。</li> <li>授業の中で、図の描き方を指導し、自分の考えを書き、発表し、交流する場を設定する。</li> </ul>            |                   |           |
| 4  | 国語 | <p>調 話し合いの内容を聞き取る力が高い。</p> <p>調 文章を書く力が全国平均を下回っている。</p> <p>学 内容の中心を明確にし、自分の考えを書くことに課題がある。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>指定された長さで文章を書く力、内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書く力が課題である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>短作文の指導やワークシート、授業の振り返りなどで、日常的に書く活動を重ねる。</li> <li>「初め」「中」「終わり」を意識して、作者の意図を伝えようとしている事柄について、キーワードをもとに読み取るなど、具体的な読み取り方の方法を教える。</li> </ul>                        |                   |           |
|    | 算数 | <p>調 新宿区学力定着度調査では、全体的に目標値を上回っている。</p> <p>調 「数と計算」領域では、大きな数の位取りを理解すること、相対的な大きさの理解に課題がある。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「数と計算」領域では、わり算などの基礎的な計算を正確に行うことや、大きな数の位取りを理解すること、が課題である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な計算練習を繰り返し行う。</li> <li>デジタルドリルを活用し、個に応じた課題解決に努める。</li> <li>ベーシックドリルを活用して繰り返し学習に取り組む。</li> </ul>  |                   |           |

|    |   |  |   |   |  |  |
|----|---|--|---|---|--|--|
| 5  | 国語  | <p><b>学</b>・話に関心をもって聞き、調べて発表する学習に意欲的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重要な言葉や文にサイドラインを引きながら文章を読み、正確に読み取ることができるようになってきた。</li> <li>学校図書館を活用した調べ学習に取り組んだことにより、複数の資料から必要な情報を集め、比較、選択し、まとめることができるようになってきた。また、読書の範囲を広げることができ、よりすすんで読書に取り組んでいる。</li> </ul> <p><b>調</b>・新宿区学力定着度調査では、漢字の読み書きや、物語や説明文などの文章を「読むこと」の正答率が目標値を大きく上回っている。一方、「書くこと」の正答率は、目標値を下回っている。調査問題の後方にある、作文問題に行きついていない実態がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>決められた文字数で文章を書いたり、内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを伝える文章を書いたりすることに課題がある。</li> <li>文章の中で既習漢字を十分に用いることができていない。</li> <li>日直や授業中の発言など、人前で話すことに消極的な児童が多い。</li> <li>話を最後までしっかり話を聞くこと、話し手の意図を正しく理解できるようになることが課題である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマに沿った作文を書く機会を設け、書くことに慣れるように指導を続ける必要がある。</li> <li>既習漢字は短作文作りや、授業ごとの漢字小テストなどで繰り返し練習する。新出漢字については、漢字辞典や国語辞典を活用し、熟語調べや短作文作りを行い、日常的に活用していけるよう意識付ける。</li> <li>人前で話す機会を意図的に作り、話すことに抵抗がなくなるよう場の設定を行っていく。</li> <li>相手意識をもって話を聞くよう、日々の授業を通して指導していく。</li> <li>デジタルドリルを活用し、既習漢字の字形や書き順、使い方など繰り返し練習し、定着を図る。</li> </ul> |  |  |
|    | 算数  | <p><b>学</b>・数直線図を描いて考え、解き方を説明することに慣れ、正確に解答することができるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数や量の大きさや関係の理解が不十分である。</li> </ul> <p><b>調</b>・新宿区学力定着度調査では、基礎、活用ともに目標値を上回っている。一方で、平行四辺形等の図形の作図が目標値を下回っている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「数と計算」領域では、わり算などの基礎的な計算を正確に行うことや、大きな数の位取りを理解すること、また、目的に応じて概数にしたり、概数の範囲を答えたりすることの理解に課題がある。</li> <li>「図形」領域では、平行四辺形等の作図に課題がある。必要な用具を選び、手順を確認して正確に作図ができるように指導していく必要がある。</li> <li>目的に応じて概数にしたり、概数の範囲を答えたりすることの理解にも課題がある。題意を捉えて適切に四捨五入を行ったりすることへの指導が必要である。</li> <li>学習問題の解決方法をノートにまとめたり、自分の考えを伝えたりする活動について課題がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>新しく学習する内容と既習事項を関連付けながら、授業を展開し、学習内容の理解を深められるようにする。</li> <li>日頃の学習の中で、正しく定規を使って線を引くなど、意図的に活動できるよう指導を工夫する。</li> <li>ノートに自分の考えが書けるよう指導していく。しっかり式を書くこと、答えには必要に応じて正しく単位を付けることなど、徹底していく。</li> <li>タブレット端末を用い、考え方の発表や意見交流を行い、より考えが広がり、理解を深められるようにする。</li> </ul>  |  |  |
| 6  | 国語  | <p><b>学</b>人の話を聞き、自分の考えを整理して伝える活動には意欲的に取り組んでいる。</p> <p><b>調</b>説明文の内容を読み取る力については、全国平均を上回っている。事実と筆者の考えとを識別し、文や段落相互のつながりを捉えて説明文を正確に読み取ることができる。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを整理し、項目立てて文章を書く力については課題が見られる。</li> <li>ペア・グループでは考えを話せるが、全体ではスムーズに話すことに課題がある。</li> <li>既習の漢字を使って文章を書くことに課題がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビや新聞、ネットで見たニュースについて普段から自分の思いや考えを書く活動を行う。</li> <li>朝・帰りの会での1分間スピーチなど、普段から大勢の人の前で話す経験を身に付けさせる。</li> <li>既習の漢字は使うことを心がけ、忘れてしまった場合は振り返る習慣を身に付けさせる。</li> </ul>  |  |  |
|    | 算数  | <p><b>学</b>点対称、線対称な図形について、具体物を用いたり図に書き込んだりして友達と交流することで、2つの図形の特徴について理解することができている。</p> <p><b>調</b>全体的に全国平均を上回っている。昨年度、課題であった「数と計算」でも全国平均を上回っている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「図形」領域では合同で全国平均を下回り、課題が見られる。</li> <li>自分の考えを図や表にして表現することに課題がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動に効果的な具体物を使用することで視覚的、感覚的に図形の特徴、性質を実感させる。</li> <li>図形の性質を理解し、より良い書き方で様々なパターンの作図をすることで、書くことに慣れさせる。</li> <li>授業の中で教師の指示は短く的確に、課題に対して児童の考える時間を確保する。自分の考えを図や表など、工夫して解いている児童のノートをICT機器を活用してホワイトボードに投影することで、考えを共有し、様々な表し方ができるようにさせる。</li> </ul>  |  |  |
| 音楽 | <p><b>学</b>音楽表現を楽しめる児童が多い。令和2年度は様々な制限がかかっていたため器楽表現を中心に学習し、リズム学習、打楽器の学習を中心に行った。</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱では、発声を工夫して響く声で生き生きと歌える児童が多いが、そうではない子もいる。</li> <li>音楽を聴いて感じたことを、自分の言葉で発表できない児童もいる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>歌う表情が明るくなるよう、様々な活動を取り入れる。楽しく歌える活動を多く取り入れる。</li> <li>発問する際に、具体的な内容で発問をする。鑑賞では、ワークシートに言葉のたからばこを用意し、言葉を選択できるようにする。</li> </ul>   |   |  |  |
| 図工 | <p><b>学</b>つくりだす喜びを味わい、主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている児童が多い。</p>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の表現に自信をもつことができなかつたり、発想するのに困難をきたしたりしている児童がいる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>相互鑑賞で互いのよさを伝えられる場を設定して、自己肯定感を高めさせたり、多様な参考作品を用意することで児童の感性を豊かにしたりする。</li> </ul>  |   |  |  |
| 特支 | <p><b>学</b>一斉指示で行動することが難しい。個別での支援を必要とする児童が多い。聞くとき、話すときの場面分けが難しい。巧緻性が低く、学習用具をうまく使えないで困っていることがある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>教室内での特別な支援が必要。</li> <li>個に応じた適切な支援ができれば、一斉指導も可能な場面が多い。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>担任と特別支援教育コーディネーターや、特別支援教室専門員が日頃から児童の様子や対応について共通理解をする。</li> </ul>   |   |  |  |

**調**・新宿区学力定着度調査の結果から見える学習状況

**学**・授業での様子や提出物、作品、ワークテスト等から見える学習の状況

※分量は2ページ以上となってもよい。